



発行 真宗大谷派名古屋教区内有志
災害ボランティアネットワーク

2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。本会の活動へのご支援、何卒宜しくお願い申し上げます。ご支援については、「一如さん（毎月12日）」での募金、もしくは下記口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志
災害ボランティアネットワーク【ゆうちょ
銀行振替口座 口座記号番号】
00800-8-174946
【支店名】名古屋橋

震災から5年目を迎えます。

被災された人々を忘れない一年となるよう、どうかお力添えください。

【福島の園児とお母さんたちが名古屋でホームステイ

—「福島と名古屋をむすぶ子ども会 in 東別院」〈12月22～28日〉—



2011年の震災の年から、原発事故の被害を受けた方々の一時避難受け入れ事業が全国的にはじまりました。真宗大谷派でも全国各地で行われ、名古屋でも実行委員会を立ち上げ、今回で5回目の開催となりました。

「でらボラ NAGOYA」は今回も全面協力して、名古屋にいらっしゃった福島県二本松市同朋幼稚園の園児ご家族（32名）の皆さんをお迎えいたしました。

12月22日（火）

張偉（チャンウェイ）先生の手作り餃子を食べていただくということで、別院事業の「フォーラム環境」の皆さんが初日の夕食を作ってくださいることになりました。21日の午後中に、皮から手作りというこだわりの餃子を300個作り、冷凍して明日を待ちました。



22日は、ご飯、和え物、スープの準備！同朋幼稚園の皆さんは、5時半ごろ東別院に到着！餃子は水餃子にし、その餃子から出る旨味でスープも同時に作ります。6時過ぎに、張先生、フォーラム環境の皆さんと一緒に食事をいただきました。同朋幼稚園の皆さま、一年ぶりの名古屋へお帰りなさい！

（竜沢悟）



12月23日（水）

今年も名古屋別院「子ども報恩講」において、でらボラ NAGOYA でトン汁の炊き出しをしました。この子ども報恩講には、一般のお参りの方に加えて、今年で開催4年目をむかえる「福島と名古屋をむすぶ子ども会」に参加して下さっているご家族にもお参りをいただいて、毎年この日は、とても賑やかで楽しい1日となります。

でらボラ会員も朝からトン汁作りの下ごしらえをしたり、テントを組み立てて配膳の準備をしたりと、皆が楽しみながら和気藹々と準備を進め、いざ配膳が始まると、たくさん子どもさんや親御さんが並んでくださり、私たちの作ったトン汁を「おいしい！」と言って何度もおかわりに並びに来てくださる方が続出！おかげさまで350人前用意したトン汁も、あっという間に全部なくなってしまいました。

また、境内では、トン汁を食べながら親子で楽しそうに過ごしたり、元気いっぱい遊びまわる子どもたちの姿が印象的でした。

（岡田奈緒子）

12月28日（月）

今年の保養の最後の食事になる28日のお昼ごはんを作りました！



メニューは浪江焼きそば、カレー風味のスープ、小倉トースト。お東幼稚園の体育館で車座になって、スタッフも一緒にいただきました。焼きそばや小倉トーストはやっぱり子どもたちに大人気！今年は日程上、別院で過ごす時間が短く感じられ、お母さんたちも「もう少しいたいなあ」と呟いていました。私たちも福島の皆さんからいただいたやわらかい気持ちを温めて続けて、来年また再会できることを楽しみにしています♪

（大河内真慈）

